

平和記念だより



◆編集・発行：高松市 人権啓発課 平和記念館
◆連絡先：高松市松島町一丁目15番1号
TEL: 087-833-2211 FAX: 087-833-2244

平成28年度 日本非核宣言自治体協議会 研修会



平成29年1月27日（金）、たかまつミライエ1階多目的室において「平成28年度日本非核宣言自治体協議会 研修会」を開催しました。

高松市平和記念館の開館を記念し、平和を考えるイベントとして市民のみなさまにもご参加いただきました。



見学中の田上長崎市長と大西高松市長

日本非核宣言自治体協議会会長の田上長崎市長による開会あいさつに引き続き、中村 桂子（長崎大学核兵器廃絶研究センター准教授）講師による、現代の核兵器についてのわかりやすい講義が行われました。

現存するといわれる核兵器の数の多さをプラスチック製の粒と音で具体的に示した際には、大きなどよめきがありました。



また、平和への取組を高松市平和記念館館長が講話した後、「高松空襲を記録する会」の喜田 清氏による空襲体験談がありました。

次の世代へと平和を継承すべく、小中学生による戦災の体験記が朗読され、最後に高松市平和記念館の見学ツアーで締めくくられました。



講義中の中村准教授（左）

🍀 日本非核宣言自治体協議会について

1984年に設立。核兵器廃絶を求める内容の自治体宣言や議会決議を行った日本国内の自治体（非核宣言自治体）で構成され、核兵器廃絶と恒久平和の実現を世界の自治体に呼びかけています。

平成28年12月現在、323の自治体が加盟しています。

🍀 2020年までの核兵器廃絶を目指して

「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める要請書

高松市平和記念館に設置しています。ご来館の際には、署名にご協力ください。



平成29年度 行事予定

5月
May

平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭

平成29年5月27日（土）午後1時～午後4時10分
場 所 たかまつミライエ 1階多目的室
内 容 映画上映 「母と暮せば」（下記参照）
戦争・空襲体験談の講演

7月
Jul.

高松空襲写真展

平成29年7月1日（土）～ 7月10日（月）
場 所 平和記念館 映像学習室
展示内容 高松空襲直後の被災写真・パネル・絵画

高松市戦争遺品展

平成29年7月20日（木）～ 7月26日（水）
場 所 IKÔDE瓦町 展示コーナー（瓦町FLAG8階）
展示内容 高松空襲と戦争に関する写真・パネル・実物資料

8月
Aug.

平和首長会議ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相に関する ポスター展

平成29年7月27日（木）～ 8月2日（水）
場 所 IKÔDE瓦町 展示コーナー（瓦町FLAG8階）
展示内容 ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相に関するポスター

11月
Nov.

高松市戦争遺品等収蔵品巡回展

平成29年11月頃
場 所 未定
展示内容 市民から寄贈された戦争遺品を中心に展示

12月
Dec.

教職員のための平和教育講演会

平成29年12月26日（火）
場 所 たかまつミライエ 1階多目的室
内 容 講演：空襲体験談 講師：未定
講演：未定



母と暮せば - 監督：山田洋次 -

□1948年8月9日、長崎で助産婦をして暮らす伸子（吉永小百合）の前に、3年前に原爆で亡くしたはずの息子・浩二（二宮和也）がひょっこり現れる。その日から時々現れるようになり、浩二の恋人・町子（黒木華）の話題や、ふたりで過ごす特別な時間は永遠に続くようにみえたがー。

□CGを駆使して亡霊の息子を描き、1948年の長崎を再現。夢と現実が美しく交る世界を描いた、やさしくて悲しい物語。



高松市平和を願う市民団体協議会について



『高松市平和を願う市民団体協議会』（以下『願う会』）とは、平和を願う市民の世論を高めるための諸活動を実施し、また、高松市の平和意識の啓発事業を豊かに発展させるため、平成7年7月4日から活動を開始している組織です。

現在は33団体が所属し、高松市のイベントなどにご協力いただいています。



「語り部」の会の活動記録



『願う会』の中の一団体に『高松市戦争体験を語り継ぐ語り部の会』があります。高松市内や香川県内のさまざまなところから依頼を受け、語り部活動を行っています。平成28年度には、次のような活動がありました。



語り部 (敬称略・50音順)	主な活動内容
岡田 昌子	● 7/24 高松南高等学校通信制生徒リーダー研修会 ● 8/8 FM香川 視聴者を対象に、岡田昌子が語る戦争と題して ● 1/16 屋島西小学校 6年生を対象に、戦時の生活と教育他について
喜田 清	● 6/2 協和中学校 2年生を対象に、高松空襲体験談 ● 6/20 西日本放送ラジオ 視聴者を対象に、高松市役所近辺を歩きながら ● 6/28 鶴尾中学校 1年生を対象に、高松空襲体験談 ● 6/29・9/27 平和病院 新規採用職員を対象に、同上 ● 10/25 三豊市立上高野小学校 6年生を対象に、戦時下の高松市他について ● 11/24 高松市屋島コミュニティセンターにて地域にお住まいの方々を対象に、同上 ● 11/30 亀阜小学校 3年生を対象に、中野町六角堂の歴史含高松空襲全体を語る ● 1/27 高松市平和記念館開館記念イベント
小西 弘和	● 11/9 弦打小学校 6年生を対象に、戦時中の暮らし他について ● 2/15 木太南小学校 5年生を対象に、同上
浄土 卓也	● 6/14 大野小学校・川東小学校・香川第一中学校 各1年生主対象に、高松空襲 ● 6/17 一宮中学校 1年生を対象に、高松空襲について ● 6/22 浅野小学校にて、同上 ● 7/8 栗林小学校にて、同上 ● 7/13 高松桜井高等学校 3年生を対象に、同上 ● 7/14 亀阜小学校 6年生を対象に、美空ひばり「一本の鉛筆」を題材に講話 ● 8/6・7 瓦町FLAG8階「高松市戦争遺品展」にて、高松空襲について ● 11/13 「障がい者・患者の9条の会」主催イベント参観者対象に、太平洋戦争他 ● 12/5 一宮小学校 6年生を対象に、高松空襲について
戸祭 恭子	● 6/19 香川民医連入職2年目の職員を対象に、高松空襲の跡地を巡りながら ● 7/4 西植田仏教会傘下のご住職及び檀家の方々を対象に、高松空襲体験談 ● 8/4 香川医療生協「高松南組合員センターはーもにー」にて 年次開催「夏休み子どもクラブ」小学1年生～5年生を主対象に、同上 ● 9/27 香川民医連入職2年目の職員を対象に、高松空襲の跡地を巡りながら ● 1/5 「教職員のための平和教育講演会」にて高松空襲体験談

戦時用語解説52 大日本婦人会



太平洋戦争は総力戦であり、女性も兵士の戦意を高揚させる精神的な支えとなるだけでなく、貴重な人的資源として戦争に参加した。さらに家庭の主婦は、節約し、供出・貯蓄などの国策に協力する経済戦の戦士として役割をになった。

全国に1,000万人の会員を持つ国防婦人会は「国防は台所から」をうたい文句にエプロン姿にたすき掛けで労働奉仕に精を出し、傷病兵や戦死者の家族を世話した。後に他の婦人会組織（愛国婦人会、大日本連合婦人会）と統合し大日本婦人会が発足した。

この大日本婦人会には20歳以上の婦人が強制加入させられた。そして、戦局の悪化した昭和20年6月、大日本翼賛壮年団や大日本青少年団、商業報国会、農業報国会とともに内閣通牒に基づいて解散し、国民義勇隊結成に参加して本土決戦に備えることになった。

*参考文献
「戦前・戦中用語ものしり物語」北村恒信
「資料が語る戦時下の暮らし」羽島知之



平成28年度

高松市戦争遺品等収蔵品巡回展

平成29年3月25日（土）～30日（木）

高松市香川図書館の2F 渡り廊下展示コーナーにおいて、「高松市戦争遺品等収蔵品巡回展」を開催しました。

パネル32点のほか、香川町近隣の方々からの寄贈品を主として、軍隊手帳やマスク付防空頭巾など10点を展示し、ご来場のみなさまにご覧いただきました。

編集メモ

高松市平和記念館は、高松空襲だけの展示内容ではありません。戦争に至る経緯から、これからの平和な未来へとつなげるための資料まで、写真・本・（DVD・VHS等の）映像、貴重な寄贈品も数多く展示している施設です。

平和記念館だよりをきっかけに、ぜひご来館ください。

開館時間：9：00～17：00

休館日：毎週火曜日 入館料：無料

▼ホームページアドレス（平和啓発の推進事業がご覧いただけます）

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/18976.html>